

BF-209SCL BF-206SCL 取扱説明書／保証書

この度は、ベストワンシリーズをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されています。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ず本書をお読みください。又、お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本取扱説明書は、ベストワンレーダー「BF-209SCL」「BF-206SCL」の共通取扱説明書となります。機種によって一部機能が異なります。

COMTEC

目次	ページ
ご使用上の注意	2
各部の名称	4
ご使用にあたって	6
ご使用前の充電	7
取付け方法	8
機能と操作方法	10
警報方法	20
その他	22

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると、生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

注意：注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一、破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品に付属のシガープラグを接続したままの状態でお車から離れる（エンジン停止）場合は、必ず本製品の電源をオフしてください。イグニッションキーオフの状態でも、シガーライターに電源が供給される車種があります。ご注意ください。

2

ご使用上の注意

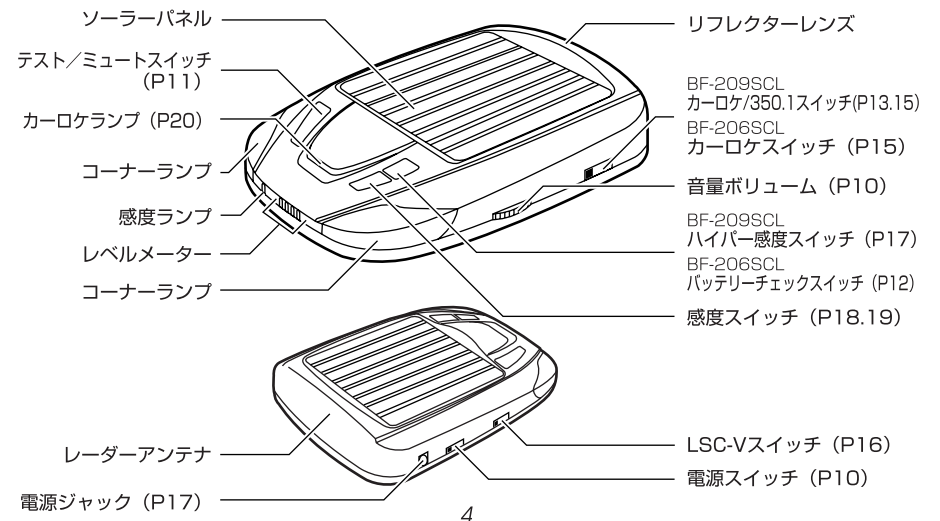
警告

- フロントガラス上部にスモーク/ブロンズ処理等がある車種は本製品の取付け位置によってはソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。その場合、本製品の取付け位置を変更するか、付属のシガープラグをご使用ください。
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、吸盤、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品はレーダー式（X・Kバンド）取締り機、カーローケーターシステム、取締り用連絡無線350.1MHz（BF-209SCLのみ）のみ有効で、光電管式、ループコイル式、LHシステム式、ワイヤ式等の方式による速度取締り機には反応しません。
- 断熱ガラス（金属コーティング、金属粉入り等）装着車はレーダー波の透過率が低い為、受信距離が極端に短くなる恐れがあります。
- 一部のナビゲーションシステム装着車において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波がレーダー波と同一周波数の場合、排除できない事があります。
- レーダー波と同一周波数のマイクロ波を利用した機器（下記）周辺で本製品が警報を行う事があります。これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。（自動ドア、防犯センサー、車輪通過計測器、気象用レーダーの一部、航空用レーダーの一部）
- 内蔵バッテリーは約5年が交換の時期となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換、修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- 本製品を厳寒地でご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグをあわせてご使用ください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。

3

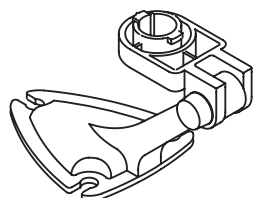
各部の名称

（注）取扱説明書内の製品イラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。
一部スイッチの機能が機種により異なります。

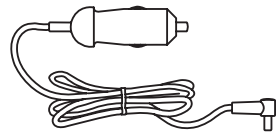


4

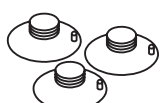
各部の名称 (付属品)



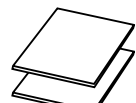
ステア (1個)



シガープラグ (1個)



吸盤 (3個)



両面テープ (2枚)

5

ご使用にあたって

本製品は、通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただ、下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグを使用して定期的に充電を行ってください。

屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車



冬季・梅雨時等、曇りの日が続く日照時間が少なくなる



高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる



夜間走行の頻度が多い



6

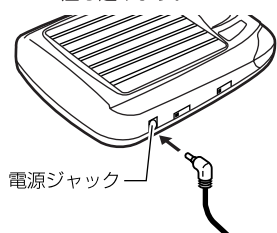
ご使用前の充電

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

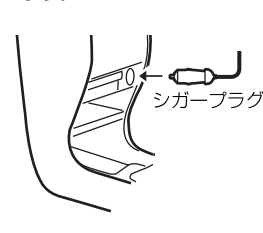
本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされています。長時間、充電しないと内蔵バッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**本製品の電源をオフの状態**でエンジンをかけて2時間以上充電してください。（充電は断続的に行う事も可能です。その場合、目安として4時間以上充電してください）

●充電の方法

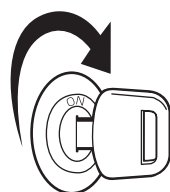
- 1 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグを差し込みます。
- 2 車輪シガーソケットに付属のシガープラグを差し込みます。
- 3 車輪のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



電源ジャック



シガープラグ



7

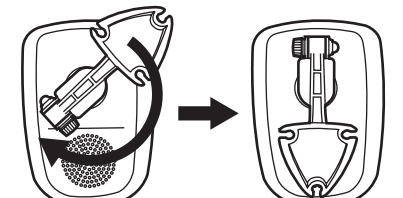
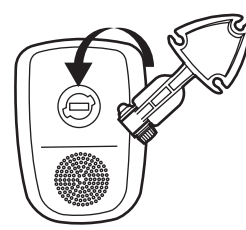
取付け方法

本製品お取付けの前に

- ・フロントガラス上部のスモーク・ブロンズ処理部付近へのお取付けは、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・運転や視界の妨げにならず、車輪の機能（エアバック等）に影響のない場所に取付けてください。

ステーの取付け方法

- 1 ステーのツメ部分を本体底面の凹にあわせてはめ込みます。
- 2 ステーをゆっくりと矢印方向にまわし、向きを調整します。



（注）ステーを逆方向にまわしたり、無理にまわしたりした場合、本製品を破損する恐れがあります。

8

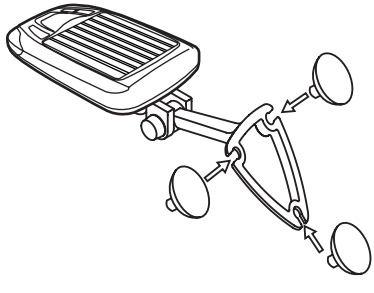
取付け方法

お車への取付け方法

- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。
- ・レーダーアンテナ部前方に金属等、電波を遮断するものが無い場所に取付けてください。
- ・ソーラーパネル全面に太陽光が当たる場所に取付けてください。

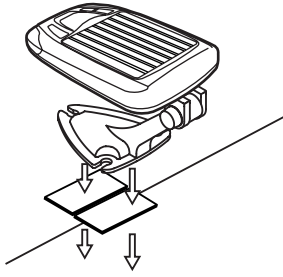
① フロントガラスへの取付け

付属の吸盤を3個使用してフロントガラスに取付けます。
 (注) 取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



② ダッシュボードへの取付け

付属の両面テープを1個又は、2個使用してダッシュボード上に取付けます。両面テープは必要な形状にカットしてご使用ください。
 (注) 貼付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

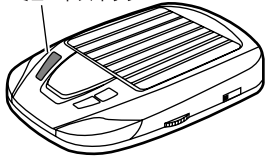


機能と操作方法

テスト/ミュート機能

各ランプ、警報音の動作確認を行うテスト機能と、レーダー波受信中の警報音をミュート（消音）するミュート機能。（警）運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。必ず、同乗者の方が操作を行ってください。

テスト/ミュートスイッチ



テスト機能	本製品の電源オンで、警報を行っていない状態でテスト/ミュートスイッチ (T/M) を押します。約15秒間テスト動作します。
ミュート機能	警報中にテスト/ミュートスイッチ (T/M) を押します。各ランプ表示は警報状態のまま、警報音のみをミュート（消音）します。受信電波がなくなると、自動的にミュート解除します。

オートボリュームダウン機能/オートディマ機能/ローバッテリーサイン機能/デモンストレーション機能

- オートボリュームダウン機能・レーダー波を受信したのち約20秒後に、警報音量を小さくします。
- オートディマ機能・昼・夜等、周囲の明るさの変化によって各ランプの光量を2段階で自動調整します。
- ローバッテリーサイン機能・内蔵バッテリーの充電量が低下し充電の必要がある場合、コーナランプの点滅とブザー音でお知らせします。（コーナランプ点滅とブザー音が同期して鳴ります）
- デモンストレーション機能・本製品の連続動作を繰り返しデモンストレーションします。
 (販売店様向け商品ディスプレイ時にご使用ください) 1.付属のシガープラグを本製品に接続します。2.テスト/ミュートスイッチ (T/M) を押したままの状態、電源スイッチをオンにします。*電源スイッチをオフにすると解除します。
- レベルリバース機能・レベルメーターの点灯方向が左右逆になります。
 1.テスト/ミュートスイッチ (T/M) を長押し (2秒以上) します。*再度、同じ操作で解除します。

11

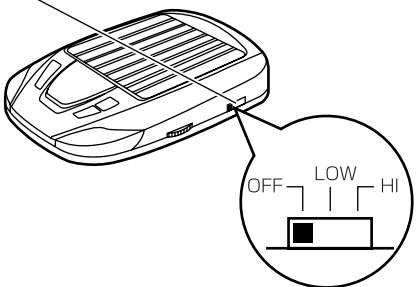
機能と操作方法

取締り用連絡無線 350.1MHz受信機能 (BF-209SCLのみの機能)

- 取締り用連絡無線 350.1MHzとは…
 取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りや、シートベルト装着義務違反取締り等でも使用することがあります。又、通話内容をコード化したデジタル無線を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。
- BF-209SCLは、カーロケーターシステム受信機能と取締り用連絡無線受信機能を兼用のスイッチで設定します。

- 1 カーロケ/350.1スイッチ (CL/350.1) を下図を参照して適切な範囲を設定してください。
 (注) カーロケーターシステム受信機能の受信感度設定と連動しています。(P15参照)

カーロケ/350.1スイッチ



設定	受信感度	設定場所
LOW	低 (約半径300m)	市街地等
HI	高 (約半径500m)	高速道路等

13

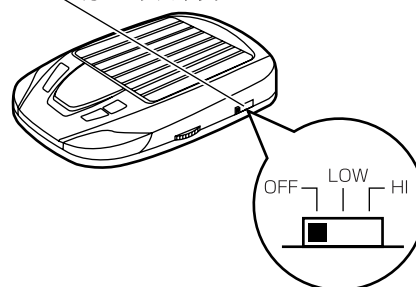
機能と操作方法

カーロケーターシステム受信機能

- カーロケーターシステム受信機能の設定

- 1 カーロケ/350.1スイッチ (CL/350.1) *BF-209SCL・カーロケスイッチ (CL) *BF-206SCL を下記表を参照して適切な範囲を設定してください。
 (注) BF-209SCLは、カーロケーターシステム受信機能の受信感度設定と取締り用連絡無線受信感度設定が連動しています。(P13参照)

カーロケ/350.1スイッチ*BF-209SCL
 カーロケスイッチ*BF-206SCL



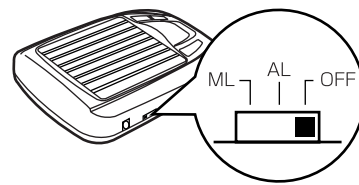
設定	受信感度	設定場所
LOW	低 (約半径300m)	市街地等
HI	高 (約半径500m)	高速道路等

15

機能と操作方法

電源スイッチ

本製品は、電源スイッチと警報音選択スイッチを兼用しています。



スイッチ位置	電源	警報音
OFF	オフ	—
AL	オン	アラーム音 (電子音)
ML	オン	メロディー音

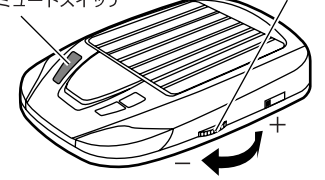
(注) 長時間、本製品をご使用にならない場合は電源スイッチをOFFにしてください

音量ボリューム (音量の調整)

本製品の警報音の音量調整を行います。

- 1 本製品の電源が入った状態で、軽く振動をあたえながら、テスト/ミュートスイッチ (T/M) を押します。
- 2 約15秒間、警報テスト動作を行います。音量を確認しながら、音量ボリュームで適度な音量に調整します。

テスト/ミュートスイッチ 音量ボリューム



10

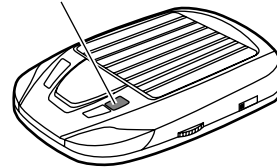
機能と操作方法

バッテリーチェック機能 (BF-206SCLのみの機能)

内蔵バッテリーの充電状態を確認することができます。

- 1 本製品の電源が入った状態にします。
- 2 バッテリーチェックスイッチ (BC) を押します。
- 3 内蔵バッテリーの充電状態を下記表のようにレベルメーターで表示します。

バッテリーチェックスイッチ



レベルメーター	充電状態
1つ点灯	充電容量20% 充電が必要です
2つ点灯	充電容量40% 充電をお勧めします
3つ点灯	充電容量60% 充電されています
4つ点灯	充電容量80% 充電されています

(注) 充電容量が40%以下の場合、付属のシガープラグ使って十分な充電を行ってください。内蔵バッテリーの性質上、短い充電でも、レベルメーターが3つ以上点灯する場合がありますが、満充電する為に必ず規定時間の充電を行ってください。

12

機能と操作方法

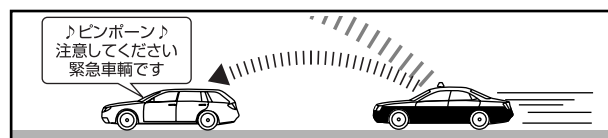
カーロケーターシステム受信機能

- カーロケーターシステムとは…

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車輻に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的 (間欠) に各本部の車輻管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車輻からの電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車輻の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車輻の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的 (間欠) に各本部に送信するカーロケーターシステムを装備しています。



本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車輻の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- (注)
- 一部地域または、一部緊急車輻には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない場合があります。
 - カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車輻の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
 - 緊急車輻は走行状態 (緊急走行、通常走行、駐停車) によって、電波の送信時間に変化するため、実際の緊急車輻の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
 - 緊急車輻がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
 - 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車輻の接近に関わらず受信する場合があります。
 - 本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

14

機能と操作方法

振動検出の設定

LSC-V機能

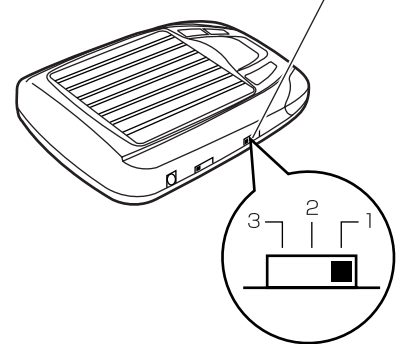
LSC-Vとは・・・ロー・スピード・キャンセラーバイブレーションの略称で、内蔵バッテリーの長時間使用を可能にする為、駐停車時と走行時の振動差を検出し、駐停車時には電源をオフし無駄な警報をカットし、走行中は電源オンする事で、内蔵バッテリーの電源節電を行う振動検出機能です。また、ASC-V設定時には検出した振動の大きさをレーダー受信感度の自動設定を行います。

- 1 本製品の電源が入った状態にします。
- 2 下記表を参照し、車輻にあった状態にLSC-Vスイッチ (LSC-V) を設定してください。

LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車輻タイプ (目安)
1	低	ディーゼル
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン

注・目安として走行速度が約30km/h以上で、電源オン (感度ランプ点滅) となる位置に設定してください。
 ・駐停車中または、低速走行中 (感度ランプ消灯時) は本製品の電源オフ状態の為、各警報は行いません。
 ・振動の多い車で、LSC-Vを1に設定していても駐停車時に電源オフできない車輻の場合は、LSC-Vを1に設定してご使用ください。

LSC-Vスイッチ

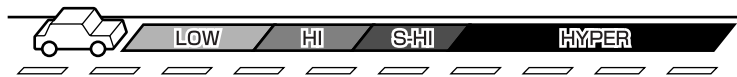


16

機能と操作方法

HYPER (ハイパー) 感度 (BF-209SCLのみの機能)

●BF-209SCLはレーダー受信感度をLOW (ロー)・HI (ハイ)・S-HI (スーパーハイ) 以外に従来の2倍の距離を感知できるHYPER (ハイパー) 感度を設定することができます。※当社比



ハイパー感度設定

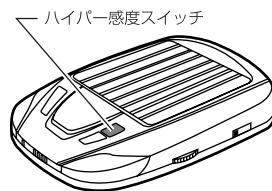
1 本製品の電源が入った状態にします。

2 ハイパースイッチ (HYP) を押す毎にハイパー感度が ON/OFF と設定されます。

ハイパー感度オン アラーム音が「ピッ」と鳴ります。感度ランプが約3秒間、青色ではやい点滅をします。

ハイパー感度オフ アラーム音が「ピッピッ」と鳴ります。

3 ハイパー感度を設定することで、受信設定をマニュアル設定、ASC-V設定のどちらでもハイパー感度が使用できるようになります。



17

機能と設定方法

レーダー受信感度の設定

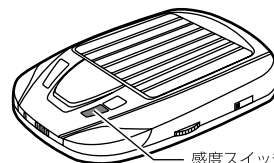
ASC-V機能

ASC-Vとは・・・オート・センシティブ・コントロールバイブレーションの略称で、走行中の速度変化による車輪振動の変化を検出して走行速度にあわせて適切な受信感度を自動で設定する機能です。

感度スイッチを長押し (2秒以上) する毎に マニュアル設定機能 / ASC-V機能 と切替ります。

1 本製品の電源が入った状態にします。

2 感度スイッチ (SENS) を長押し (2秒以上) し、ASC-V機能に切替ります。(アラーム音が「ピッ」と鳴ります)



(注) ・ASC-Vを設定する場合、LSC-Vの設定 (P16) を行ってください。
・車輪振動が極端に大きな車や、駐車時、走行時の振動差が小さい車はASC-V機能が正常に動かない事があります。そのような場合、受信感度はマニュアル設定 (P18) でご使用ください。
・本製品の取付け位置 (フロントガラス、ダッシュボード等) によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

※BF-206SCL
走行速度に応じて LOW → HI → S-HI の順に受信感度の自動設定を行います。

※BF-209SCL (ハイパー感度設定時)
走行速度に応じて [LOW → HI → S-HI → HYP] の順に受信感度の自動設定を行います。

19

警報方法

レーダー受信時の警報

●レーダー式取締り機に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)	
レベルメーター (緑)	
コーナールンプ	緑点灯 ▶ 橙点灯 ▶ 赤点灯
警報音	アラーム: ビッピッ・・・ビッピッ・・・ (スローテンポ) ビッピッ・ビッピッ・ビッピッ (アップテンポ) メロディー:
受信感度	LOW (赤): 警報音が鳴らない HI (橙): 警報音が鳴る S-HI (緑): 警報音が鳴る HYP (青): ※ハイパー感度はBF-209SCLのみの機能となります。
ステルス波受信	レベルメーターが交互に点滅し、断続音で3秒間警報します。(ピロピロ・・・)

21

機能と操作方法

レーダー受信感度の設定

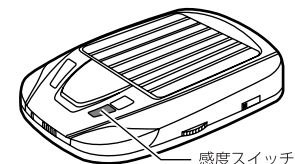
●本製品はレーダーの受信感度をLOW (ロー) HI (ハイ) S-HI (スーパーハイ) の3段階に手で設定するマニュアル設定機能と、走行振動を検出して適切な受信感度を自動設定するASC-V機能とがあります。※商品出荷時はマニュアル感度設定・S-HI (スーパーハイ) に設定してあります。

マニュアル設定機能 / 感度スイッチを長押し (2秒以上) する毎に マニュアル設定機能 / ASC-V機能 と切替ります。

1 本製品の電源が入った状態にします。

2 感度スイッチ (SENS) を長押し (2秒以上) し、マニュアル設定機能に切替ります。(アラーム音が「ピッピッ」と鳴ります)

3 感度スイッチ (SENS) を押す毎に「S-HI→HI→LOW」の順に受信感度が切替ります。右記表を参照し最適な受信感度を設定してください。
※BF-209SCLはハイパー感度設定時 (P17) のみ「S-HI→HI→LOW→HYP」の順に受信感度が切替ります。



受信感度	感度ランプ	走行場所
LOW	赤	市街地
HI	橙	郊外地
S-HI	緑	高速道路
HYPER	青	高速道路

※BF-209SCLのみ

18

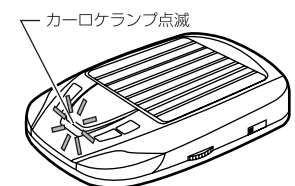
警報方法

カーロケーター警報

●カーロケーターシステムを受信した場合、下記のように警報を行います。

音声警報内容	カーロケランプ
ピンポーン 注意してください 緊急車両です。	約5秒間点滅

※ ・一定間隔でカーロケーター警報が数回鳴る場合、同一方向に緊急車両が走行している事が考えられます。
・カーロケーター警報中にレーダー波を受信した場合、レーダー警報を優先します。

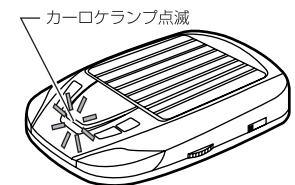


350.1MHz警報 (BF-209SCLのみの機能)

●取締り用連絡無線 (350.1MHz) を受信した場合、下記のように警報を行います。

音声警報内容	カーロケランプ
ピンポーン 無線を受信しました。 ～無線会話受信～	約5秒間点滅

※ ・350.1MHzのデジタル無線を受信した場合は、無線会話受信が行えません。ノイズ音として出力されます。
・350.1MHz警報中でもレーダー警報又は、カーロケ警報を優先して行います。



20

その他

故障かな?と思ったら/製品仕様

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	電源スイッチはオンになっていますか? 十分な充電がしてありますか? LSC-V機能は正しく設定してありますか?	10ページ 7ページ 16ページ
警報をしない レーダー波の警報をしない	音量は正しく設定してありますか? レーダー式 (電波式) 取締り機ですか? LSC-V機能、受信感度は正しく設定してありますか?	10ページ 16.18.19ページ
カーロケ警報を行わない	カーロケスイッチは正しく設定されていますか? 対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両ですか? 駐車時、低速走行時の緊急車両はカーロケ電波の送信休止周期が長い為受信しにくい場合があります。	15ページ 14ページ
350.1MHz警報を行わない (生会話を受信できない)	カーロケ/350.1MHzスイッチは正しく設定されていますか? 350.1MHzのデジタル無線ではないですか?	13ページ 13ページ
警報音が鳴り続ける	内蔵バッテリーの電池容量が不足していませんか? (ローバッテリーサイン機能)	11ページ

製品仕様

電源電圧	3.6V (高容量カドニカ電池)	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
電池容量	450mAh	検波方式	FMトラッキングタイムカウンタ式
充電入力電圧	D.C12V~24V	動作温度範囲	-10℃~+80℃
無振動待機時消費電流	1mA以下	充電電圧範囲	-5℃~+70℃
最大消費電流	100mA以下	本体ケース寸法 (mm)	78.0 (W) × 110.0 (L) × 31.0 (H)
受信周波数	X/バンド (10.525GHz) K/バンド (24.200GHz)	重量 (g)	160.0g ※1
	カーロケーターシステム (407MHz帯) 取締り連絡無線 (350.1MHz) ※1		160.0g

※1.BF-209SCLの仕様

22